

# もろともに

NO2

## 「PTA総会 校長講話から」 4月21日

入学式で、1年生69人を迎え、全校児童414人、職員42人、合わせて456人で、今年の箕輪北小学校が出発しました。1年生の学年名は「つばさ」学年です。つばさ学年・おひさま学年・ひまわり学年・だいち学年・かがやき学年・わかば学年。6つの学年がそれぞれの色に輝くことを願っています。

PTAの皆様には、大槻伸次会長はじめ、新三役の皆様、各部役員の皆様 学級学年役員の皆様、支会役員の皆様、評議員の皆様、北小独立開校から65年目となる平成29年度。一年間、たいへんお世話になります。全校児童が輝けるよう、どうぞよろしく願いいたします。



坂村真民さんの言葉に「花は一瞬にして咲くのではない。大地から芽が出て葉をつくり、葉を繁らせ、成長して、つぼみをつくり、花を咲かせ、実をつくっていく。花は一瞬にして咲くのではない。花は一筋に咲くのだ。」という一節があります。地域に一年中咲く桜、それは子どもたちです。昨年も、保護者、地域の皆様のおかげで、一筋に咲く、子どもたちの健やかな成長がたくさん見られました。

今年の箕輪北小学校が目指す子どもの姿は、「自ら考え、自ら判断し、行動する子」です。学校教育目標「まなぶ子～自分の考えを持ち、自分を表現する子～」 「きたえる子～ねばり強くチャレンジしていこうとする子～」 「つとめる子～自分や人を大切にしている子～」を願い、これからも「もろともに」子どもたちを見守り、育てていきましょう。よろしく願いします。

## 「児童総会 校長の話から」 4月20日

藤田眞宙君を中心とした「にじいろ学年」の皆さんから、漆戸さゆりさんを中心とした「わかば学年」の皆さんへ「北小児童会」というバトンが受け継がれました。そして、3月には、立派な「6年生をおくる会」を企画・運営し、あれから早、1ヶ月が過ぎようとしています。

二つの話をします

### 1 平穏な毎日

4月から、児童会の活動が本格的に始まりました。歌「365日の紙飛行機」の歌詞の一節に“朝の空を見上げて、今日という一日が、笑顔でいられるようにそっとお願いした”という歌詞がありますが、北小には、おかげで平和でおだやかな一日が訪れています。

私は、それは児童会の皆さんのおかげと思っています。

作っていただいた児童総会の議案書にあるように、あいさつ当番・節電の見回り・図書の貸し出しの世話・毎日の放送・ゴミステーションでの仕事・トイレトペーパーの確認・なかよし黒板の書き換え・アルミ缶やペットボトルのキャップの回収・一輪車の点検などなど。これらの当番活動は、自分のためだけではなく、人のために、みんなのために、学校のためにという気持ちでやってくれていることがとてもうれしく、そのことが、安心安全の学校を日々作ってくれていることに気づきました。皆さんのおかげです。

### 2 具体的に動く

さゆりさんや拓実くんの立会演説でもあったように、これまでの北小の皆さんは、あいさつ

をととても大切にし、宝としてきました。そして、今年は、朝のあいさつがハイタッチと笑顔のゲートで始まっています。あいさつを広めよう、そして、それをあいさつのゲートで何とか実現しようとしていること。そのことが、全校が自分から進んでできる今のあいさつを広めてくれてきています。

『とにかく具体的に動いてごらん 具体的に動けば 具体的な答が出るから』という相田みつおさんと言う人の言葉があります。『考えてばかりいると日がくれちゃうよ』という同じく相田みつおさんの言葉もあります。先のことをいくら考えてもわからない場合があります。現実に行動してみれば、何かがわかります。それから考えたほうが早いこと・いいことがあります。ぜひ、どの委員会も 各委員会の目標を達成するにはどうしたらいいか。動いて考えてみて下さい。そうする中で、きっと皆さんらしい答えが見つかるものと思います。

二つのお話をしましたが、このように、早速動き出した平成29年度の児童会に大きく期待をしています。困ったことがあったら何でも先生方に相談して下さい。先生方と皆さんと力合わせて ますますすばらしい北小学校に、今、決まった児童会の今年のテーマ「全校になかよしの輪とあいさつと思いやりの心が増える」になるとうれしいです。よろしく願います。

## 「災害はすべてはじめて 避難訓練 校長の話から」 4月21日



けがをしている人はいませんか？右や左にいるお友達は大丈夫そうですか？前や後ろのお友達はどうか？すばらしいです。全員がここにこうして安全に避難できたと言うこと。そして、静かに話が聞け、その場にふさわしい行動が、今もとれているということ。

さて、1年生は小学校での火災による「初めて」の避難訓練でした。放送は聴けましたか？先生の話は聞けましたか？避難のやり方は分かりましたか？1年生は、小学校「初めて」の避難訓練でしたが、よくできました。

今日は「初めて」の話をします。

学校では今日のように避難訓練は、命を守るとても大事な学習なので、地震の場合の避難訓練や、家庭に皆

さんを安全に引き渡す訓練も含め、1年に何回かやります。そのうち2回は、今日のような「火事」の場合の避難訓練です。1年生は初めての火事の場合の避難訓練でしたが、2年生は、これまでに、昨年2回経験しましたから、今日は3回目の避難訓練。3年生は、昨年まで2回×2学年分の4回、今日は5回目の避難訓練でした。そう考えていくと、6年生は、今日の火災による避難訓練は、何回目の避難訓練になるでしょう。1年生から5年生までの5学年分10回と6年生になった今日の1回ですから、今日は11回目の避難訓練です。たくさん訓練をしてきましたね。

ですが、考えて見て下さい。その11回もすべて、自分のいる教室が違っていたり、出火場所や風向きが違っていたり、これまで、くり返し訓練をしてきたのですが、そのたびに、「初めて」の避難訓練だったはず。1年生から6年生まで、すべての皆さんが「初めて」の避難訓練なのです。1年生は1回目の「初めて」の避難訓練。6年生は11回目の「初めて」の避難訓練でした。それは先生達も同じです。私達も、そのたびにみんなで避難の方法を確認しあいます。災害や火事は、そのすべてが いつ起こるかもわかりません。状況も、場所も、すべてが異なります。災害のすべてが「初めて」です。その初めてにどう対処するか。そのための訓練なのです。これからおこるかもしれない「初めて」に遭遇したときは、今日、訓練したことをよく思い出して自分の命を自分で守ってください。

でも、どうしても、自分の命を守れない人がいたら、どうか、みんなで守ってください。怪我をしていたり、体が弱かったり、怖くて足がすくんでしまったりと、皆さんのように自分の命を自分で守るには難しいという人もいます。そんな時は、できる人が声をかけたり、力を貸したり、支えて、みんなで守りあって下さい。

今日は「災害は、すべて初めて」という話をしました。

